

平成29年度 第5回庄内町行政改革推進委員会 会議録

- 1 開催日時 平成29年11月28日(火) 18時30分～20時10分
 - 2 開催場所 庄内町役場 会議室
 - 3 出席委員 大滝美香、大瀧礼子、齋藤幸雄、佐藤正義、工藤隆、志田重一、長南美香
 - 4 欠席委員 金井昌弥、小林洋平、斉藤徹史
 - 5 事務局等 樋渡主査兼企画調整係長、佐藤
-

1 開 会 (18:30)

2 委員長あいさつ

3 協 議

(1) 平成29年度事務事業評価の外部評価について

委員長提案の資料1で提出することとした。

(2) 第2次行財政改革推進計画の進捗状況について

特に意見を付すことはなく、行政改革推進本部の意見を支持することとした。

(3) 平成31年度以降の庄内町行政改革推進委員会の開催方法について

【事務局】資料2～5の説明

【委員】資料5の内容について町長はわかっているのか。昨年度町長から分科会についての提案があったのに、違う提案をするということは町長が満足しないのではないのか。これは担当課としての案か。

【事務局】これは担当課としての案です。分科会ありきで考えるのではなく、あくまでも行政改革の強化という目的をどのように達成していくかということで考えてほしいと思います。

【委員】分科会として考えるのであれば、やはりこの人数では足りないと思う。最低でも5名×3班にしてほしい。

【委員】分科会長が結構大変になる。できるだけ負担の少ない形でやって欲しい。資料5については、町長がよしとするのであれば、分科会としなくてもできるし、やってみてはどうか。

【委員長】昨年度、町長からはもっと多くの事業を評価してもらえないかという話があった。

【委員】分科会をする前に、実際分科会を導入している振興審議会等の状況を聞いておいた方がよい。私としては3つの分科会がいいと思うが、その反面、デメリットもあるので、かえってまとまりがつかなくなるという懸念もある。

【委員長】仮に分科会3つでやった場合、項目としてどの位検討できるか。

【事務局】総務102、文教厚生131、産業建設129でこの中からピックアップすることになります。

【委員】役場の方が事務事業評価を書いている。得意ではないところも生活していれば意見もあると思う。そこが分科会にしたとしてもできればよい。

【委員長】3分科会にしても結構な事業をヒアリングできると思う。ただ自分の興味がない部分があ

ったとしても評価することになる。資料5については、平成30年度に試行できる。これでやってみて、だめだったら分科会とするということもできる。

【委員】 少子高齢化が進んできている中で、指定管理制度も昔は無かったけど、ここにきて進んできている。それらも念頭に置いていく必要がある。

【委員長】 試行錯誤できる範囲の中で、平成30年度は資料5の案でやってみたいと思う。

【委員】 会議の開催は夜間ありきなのか。

【委員長】 夜間で固定する必要はないと思っている。委員会の審議内容がさみしくならないように、皆さんが出席できるように開催すればよいと思う。

【事務局】 今後は土日も含めて、出席の調整を行いたいと思っています。

【委員長】 分科会が5名ということであれば、調整はしやすくなるのではないか。

【委員】 分科会とすると、会議の回数は増えるのか。

【委員】 分科会長会等もあったりするので、全体としての回数は増える。

【委員】 始まる時間を午後6時30分から、午後6時に早めてもらいたい。

4 その他

費用弁償等を12月15日（金）に支払う予定。

5 閉会

(20:10)